

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和7年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和7年11月20日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁15階 15C会議室

令和7年度第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和7年度第3回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和7年11月20日（木） 14:00～15:30

開催場所 本庁15階 15C会議室

3 出席委員（五十音順）

古林 節子、中里 彰宏、樋上 弥寿子、森江 由美子

4 議事

（1）令和7年度第2四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

（2）令和7年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和7年度第2四半期に契約をした工事の中から、古林委員が10件（契約課契約分8件、上下水道局分2件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

（問） 総合評価、一般競争入札による土木工事で、技術点が1位で落札金額が7位の業者が落札しているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

（答） 県道長行田町線の小倉南区高野一丁目付近における道路拡幅に伴う道路改築工事である。

本件工事は、一般的な道路改築工事であるが、工事箇所周辺は車の通行が多い場所であり、歩行者や沿道施設利用者への安全配慮が必要であることや配置予定技術者など技術力を評価することで、工事の品質確保を図ることが期待できることから、総合評価落札方式を採用した。

土木Aランクの業者を対象に公告したところ、21者から入札参加申請があったが、10者が入札辞退や取消となったため、11者による競争入札となった。落札業者の入札金額は7位であったが、入札価格の差は小さく、落札者は価格以外の評価点が1位であり、これらを総合した評価値で1位となったため落札した。

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、入札参加申込者7者のうち6者が辞退や失格・取消となり、1者入札となっているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 都市整備局では、市営住宅の長寿命化を図る住宅保全事業を行っており、本件は市営南丘団地の外壁改修及び屋上の防水を行う工事である。

南丘団地は1階に保育所が入っており、園児や住民の安全に配慮した施工が必要となるため、技術提案力等を評価する総合評価落札方式を採用した。

建築Aランクの業者を対象に公告したところ、7者から入札参加申請があったが、1者が入札を辞退し、期日までに技術資料の提出がなかったことから2者が失格となり、先行して開札した工事を落札したことから3者が取消となったため、1者による入札となった。入札参加者が1者のみとなったため、総合評価の比較対象は無かったが、技術提案の評価に問題はなく、落札業者と決定した。

(問) 総合評価、一般競争入札による港湾工事で、入札参加申込者4者のうち3者が辞退しており、1者入札となっているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 沖合の漁業施設に連絡道路を栈橋形式で整備する工事である。

施工現場が矮小で、クレーンでの吊り上げ作業が発生するため作業員との接触や受梁の落下対策など、安全に配慮した施工が必要となるため、技術提案力等を評価する総合評価落札方式を採用した。

入札参加申請は4者で、技術者が対応できない等の理由から3者が辞退したため、1者による入札となった。入札参加者が1者のみとなったため、総合評価の比較対象は無かったが、技術提案の評価に問題はなく、落札業者と決定した。

本件のような海上での作業は海の気候条件に左右されやすいといった特徴があるため、入札への参加を敬遠される傾向にある。

(問) 一般競争入札による管工事で、入札参加業者数が少なく、落札率が100%であるため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 八幡東区役所庁舎の老朽化した給水設備の改修工事である。

本件工事は、工事期間中にまつり起業祭八幡の開催が予定されており、その間の施工を控える必要があることや、施工中の騒音、粉塵、振動等の抑制に努めるなど区役所施設の運営や来庁者等の安全に配慮した施工が求められるものである。

管Aランクの業者を対象に公告したところ、4者から入札参加申請があったが、自社で対応が困難である等の理由で1者が辞退したため、3者による競争入札となった。

入札の結果、2者が最低制限価格を下回り失格となり、唯一、最低制限価格を上回る額で入札した業者が落札したが、事前公表している予定価格と同額での入札であったため、落札率が100%となったもの。

(問) 総合評価、一般競争入札による造園工事で、入札参加業者数が少なく、金額が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 公園施設に滑り台やつり橋など大型複合遊具の設置を行うとともに広場の整備を行う工事である。

今回の工事は一般的な広場の整備工事であるが、園路歩行者等の安全に配慮する必要があるため、技術提案力等を評価する総合評価落札方式を採用した。

造園Aランクの業者を対象に公告したところ、5者から入札参加申請があったが、1者が辞退したため、4者による競争入札となった。

本件と同程度の大規模な造園工事の発注は少なく、業者としても施工経験があまりないことから参加業者数が少ない傾向にある。

(問) 一般競争入札による機械器具設置工事で、入札参加業者が1者と少なく、金額が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) JR駅周辺における既設昇降機の更新工事である。

周辺商業施設の運営に支障をきたさないよう、利用者及び周辺住民の安全に配慮した施工が必要となる。

本件と同様の昇降機更新工事でも度重なる辞退や、入札不調が続いており、業者の入札意欲が乏しい状態であるため、予定価格1億円未満であるが一般競争入札を採用した。

機械器具設置業者を対象に公告したところ、参加申請は1者であったが、最低制限価格を上回る金額での入札であったため、落札業者と決定した。

昇降機は専門知識を必要とする施設であるので、技術的には対応可能であるものの、安全面での懸念から入札を敬遠された結果ではないかと考えている。

(問) 指名競争入札による電気工事で、指名業者数が多く、落札率が低いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 駐車場の照明のLED化を行う電気工事である。

入札参加要件を満たす電気業者を20者指名したところ、5者からは反応がなく、7者が辞退したため、8者による競争入札となった。

工事費用のうち直接工事費に占める機器費の割合が高いため、最低制限価格を設けなかったが、機器の調達は、日ごろの取扱いや流通ルートの有無等の差が入札価格を左右することから、応札額にばらつきがあった。その結果、落札業者の入札金額と予定価格に差があり、落札率が低くなったものである。

(問) 指名競争入札によるとび土工コンクリート工事で、金額が高く、落札率が100%であるため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 北九州広域都市計画道路12号線の浅川工区において歩道部に落石防護柵を設置する工事である。

法面の整備工事を得意としている業者で、市の指名実績のある11者を指名し、競争入札を行ったところ、10者が最低制限価格を下回り失格となり、予定価格と同額で入札した業者が落札業者となった。

(問) 総合評価、一般競争入札による水道施設工事で、入札参加申込者14社のうち10者が辞退や失格・取消となり、技術点が1位で落札金額が3位の業者が落札しているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 井手浦浄水場から行橋市及び苅田町に水道用水を供給するための送水管を整備する工事である。

本件工事は、一般的な水道施設工事であるが、工事箇所周辺は車の通行が多い場所であり、車道の規制や作業員の安全確保に配慮する必要があることから総合評価落札方式を採用した。

水道施設Aランク業者を対象に公告したところ、14者から入札参加申請があったが、技術者が対応できない又は見積額が合わない等の理由から8者が辞退し、また、先行して開札した他工事を落札した2者が取消となったため、4者による競争入札となった。落札業者の入札金額は3位であったが、入札価格の差は大きくなく、落札者は価格以外の評価点が1位であり、これらを総合した評価値で1位となったため落札した。

(問) 指名競争入札による水道施設工事で、指名業者数が少なく、金額が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 配水管の布設替えに伴い、不断水仕切弁を設置する工事である。

本件工事で仕切弁を設置する配水管は主要配水管で、断水を行うことで市民生活に影響を及ぼすものである。断水せずに施工する特別な技術と経験が必要な工事であるため、施工実績がある2者を指名した。

工事費に占める仕切弁の製作費が比較的高いため、一般的な水道施設工事より金額が高くなっている。